



学校通信

我が輩はトラフズク

令和6年5月24日 No.2

弘前市立第三中学校 (文責: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

「あいさつ」

校長 小笠原 恭史

先生になって、「あいさつ」の指導をしなければなりません。「あいさつ」について、「礼儀だから」とか、「失礼がないようにしなければならないから」などとしか説明していませんでした。礼を欠くことの「礼」の意味さえ教えず、まして、生徒にあいさつされたくなる自分かなど顧みず、まるで強要するかのように指導していました。見かねた先輩が「あいさつ」の意味を教えてくださいました。改めて調べてみると教わったことと同じような内容がありました。

「あいさつ(お辞儀)」は、「飛鳥時代～奈良時代に、相手に対して頭を下げて首を見せ、攻撃の意思や敵意がないことを表していたことに由来」し、例えば「握手」も、「互いに敵意を抱いていないということを示すために利き腕を相手にゆだねたこと(武器を持っていないことを示す)に由来」するとありました。時代背景は違いますが、今も「敵意がない」～友好的関係を望む言葉(行為)として大切にされています。

以降、「あいさつ」について「誰もが居心地のいい集団であるためには、「敵意がない」～友好的関係を望むことを日常的に伝え合うことは大切。だから仲よし同士、身の回り的人、初めて会う人には尚更に「あいさつ」と説明するようになりました。

さて、修学旅行に行ってきました。そこで「あいさつ」の大切さに気づかされることがありました。3年生には修学旅行3日目:朝に伝えました。「いつも校長室にいて皆さんとの接点が少ない私なので、修学旅行中どうしていいのかわからないか不安に思っていました。そんな私に3年生の皆さんがあいさつしてくれました。とても嬉しく思いました。」この嬉しさは、教師として生徒の皆さんがあいさつできることを喜んだものではなく、不安な思いを抱えていた一人の人としての嬉しさでした。「あいさつ」は、「してもらおうと嬉しい」、相手の心を温かくするものだと思います。

「あいさつ」、敵意なく～友好的人間関係を望むことを伝え合う言葉(行為)、相手は嬉しく、心温まる言葉(行為)として大切にしていきたいと思います。

第75期前期生徒総会

5月9日(木)、第75期前期生徒総会が行われました。当日の質疑応答では、資料をよく読んだ質問と、よりよい学校生活の向上を期待する回答が多く見られました。さらに今年度は、生徒会執行部から全校生徒に提案し、それを先生方に実現の要求をする議決や生徒会規約の改正案の提案、学級ごとのカラーハチマキの導入など、これまで以上に生徒が主体となった生徒会活動を感じました。



東京を満喫した修学旅行

1日目 5月15日(水)

学校→新青森駅(新幹線)→上野駅→上野恩賜公園(班別見学)→東京タワー→鑑賞教室:舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」→ホテル

2日目 5月16日(木)

ホテル→ディズニーリゾート→ホテル

宿泊:東京ドームホテル

3日目 5月17日(金)

ホテル→東京スカイツリー→お台場→東京駅(新幹線)→新青森駅→各地区経由のバス→学校

5月15日(水)～17日(金)に3年生が2泊3日の日程で修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、計画通りに全ての行程を無事に終えることができました。生徒達は様々な名所を見学したり、舞台鑑賞をしたりすることを通じて多くの事を学んだ、とても有意義な3日間になりました。生徒の満足感に溢れる表情からは、成長の跡が感じられました。



6月の主な行事予定(変更になる場合もあります)

1	土		16	日	テスト前部活動停止～20日
2	日		17	月	変則5時間、市教委計画訪問
3	月	短縮6時間、夏服衣替え完全実施 三中学区あいさつ運動	18	火	平常6時間、質問教室①
4	火	短縮6時間、3年耳鼻科健診	19	水	短縮4時間+⑤中体連表彰 ・報告会、職員会議(三中祭)
5	水	短縮6時間	20	木	平常6時間、質問教室②
6	木	短縮6時間	21	金	6月テスト
7	金	短縮4時間、⑤中体連激励会	22	土	
8	土	地区中体連夏季大会1日目	23	日	
9	日	地区中体連夏季大会2日目	24	月	平常4時間+⑤三中学区小中連 絡協議会(授業公開)
10	月	短縮4時間 ※給食なし 地区中体連3日目	25	火	短縮6時間、生徒会委員会
11	火	振替休日	26	水	平常6時間 愛成園定期情報交換会
12	水	振替休日	27	木	卍学体験学習
13	木	平常6時間、⑤⑥2年思春期教室	28	金	平常6時間
14	金	平常5時間、職員会議	29	土	
15	土		30	日	